

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 7 年度 緑川ダム操作規則検討業務
業 務 概 要	・計画準備・・・1式・放流の原則による影響の検討・・・1式・警報区間の検証・・・1式・緑川ダム操作規則・操作細則改定案の解説書作成・・・1式・異常洪水時防災操作の検証・・・1式・甲佐ダム操作ルールの検討・・・1式・報告書作成・・・1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 和田 賢哉
契 約 年 月 日	令和 7 年 7 月 9 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	1 5 , 0 0 4 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 5 , 0 0 4 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	緑川水系
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 7 年 7 月 1 0 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 1 2 月 2 6 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度 緑川ダム操作規則検討業務
2. 履行場所 緑川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：（092）714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、緑川水系河川整備計画（変更）を踏まえた、緑川ダム洪水調節ルールの変更に伴い、緑川ダム操作規則・細則の改定について検討を行うものである。

2) 業務の内容

- ・放流の原則の検討
- ・放流の原則による影響検討
- ・警報区間の検証
- ・緑川ダム操作規則・細則改定案の解説書作成
- ・異常洪水時防災操作の検証
- ・甲佐ダム操作ルールの検討

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ【緑川ダムの操作ルール変更検討に伴う、運用面での課題を抽出するにあたっての留意点】に係る技術力を備えていると判断される。

特に、「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、「実施手順」における実施フローの工夫、工程計画の工夫が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「緑川ダムの操作ルール変更検討に伴う、運用面での課題を抽出するにあたっての留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

熊本河川国道事務所 流域治水課長